

今 利 一

〔市民連合〕

再生可能エネルギーの方向は

問 現行の化石燃料を再生可能エネルギーに変更すべきと考えますが、今後の再生可能エネルギーの方策について伺う。

答 平成21年度策定した「富良野市地域エネルギービジョン」に基づき、地域特性を活かした、需要地に近い再生可能エネルギーの活用を進めている。

現在、ペレットストーブ、太陽光発電の設置の補助、麓郷白鳥川小水力発電の整備等進めている。今後においても、導入可能なものから積極的に取り組む。

地域の自主的な活動を支援

問 東山地域の山岳景観や農業景観を活用し、農業と観光の結びつきによる地域活性化を目的に、東山地域観光振興計画は策定されたが、市が対応しなければならぬこと、地元との協議がどの程度進んでいるのか伺う。

答 東山地域観光振興計画は、

東山地域住民の方々との意見交換により策定された計画で、地域住民自身が主体となり活性化を進めている状況にある。

具体的な取り組みは、「ジビエと地元野菜を食す樹海の里ウォーキング」を6月に開催。このイベントは、「樹海の里盛り上げ隊」が主体となり市と連携して行う。

東山地域の自然景観と農業景観に加え、花によるイメージアップにつなげていくため、昨年度より東山地域の農業者の協力のもと、試験的に緑肥の「キカラシ」などの植え付けを行っている。現状として植え付け場所は点在が課題。今後関係団体と連携、支援していく。



老節布から見た大雪山風景

黒岩 岳 雄

〔ふらの未来の会〕

交通安全・事故防止策は

問 高齢者の運転による交通事故防止対策について伺う。

答 高齢者による交通事故は増加傾向にあり、運転者の高齢化に対する対策は重要課題と認識している。運転免許証の自主返納の支援策に取り組む自治体もあるが、本市としては現況を踏まえ、高齢者の視力や運転能力の低下に伴う運転の危険性と安全運転について関係機関等と連携し、指導・啓発に努め、また、支援事業についても検討する。

富良野ワインの販売促進と顧客づくりは

問 修学旅行でのワインぶどう収穫体験企画やアイスワインのぶどう収穫体験の企画について。

答 修学旅行のワインぶどう収穫体験については、原料ぶどうの確保を優先する必要性や収穫時期のズレなど課題がある。収穫体験は富良野の観光の魅力に

なること、新たな顧客を広げることや将来の顧客としてリピーターとなってくれることなどを考えると、今後どのような体験がいいか、幅広く検討する。



アイスワイン用ぶどうの収穫風景

また、アイスワインは収穫のタイミングが難しいが、12月下旬から2月上旬の2か月間で実施していることから、この期間の宿泊者に対して富良野でしかできない体験メニューとして、宿泊施設、ふらの観光協会などと連携して情報提供をしていく。

△その他の質問▽
◇「スキー大会の検証について」として、全国高等学校選抜スキー大会（過去9回開催）の検証と今後の取り組み及び国際大会の開催について質問。